

令和3年度「尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業」活動報告書

1. 教育・研究活動名 「地球・地域とつながる共生ライブ」(尼北創立100周年編)
2. 申請団体 兵庫県立尼崎北高等学校
3. 活動グループ名 芸術鑑賞部
4. 教育・研究活動目的・目標

本校は「地球・地域とつながる尼北」をスローガンとし、私たち芸術鑑賞部も地域密着型の軽音楽活動やボランティア活動に力を入れている。本事業1年目の令和元年度は、子ども食堂との中心に多くのイベントを企画、幼児から高齢者まで多くの市民と交流した。

ところが令和2年度は、コロナによる休校、イベント自粛、子ども食堂閉鎖で、従来の活動が不可能となり、小規模な工作教室や軽音教室に加えて、動画配信に活路を見いだして、新しい生活様式での市民との支え合いを模索しました。

令和3年度は、これまでの経験をもとに、長引くコロナ渦においてもつながってゆく方法で、演奏、軽音・工作教室、動画配信、工作材料提供などを展開したいと思います。全国の軽音楽部の地域交流を研究し、自分達に取り入れ、環境オープンカレッジと連携して、環境・SDGsの活動も模索します。子ども食堂との連携も、あきらめずに計画します。

地域環境、SDGs、福祉の精神は、「誰一人取り残さない」なので、あらゆる方面で交流を深め、共生できればと思います。そのため、講演会などでの学びも大切にします。

(1) 昨年度からの継承

子ども食堂との音楽や工作での交流、地域の子どもを対象とした工作教室と音楽演奏、幼稚園児・保育園児対象の演奏会に加え、高齢者とのふれあい演奏会などが行えればと考えていましたが、令和2年度に引き続きコロナウイルス感染防止のため、イベントなどが行いにくい状況となりました。

その中で、昨年模索した演奏動画配信や工作材料の提供といった「離れていてもつながる」ことを継承・発展させてゆければと考えました。

(2) 尼北創立100周年の福祉活動・・・地域への感謝。

高等学校の運営は、地域の方々の支えなくして成り立ちません。

本校が地域に愛されながら創立100周年を迎えることができたことに感謝し、できる限りの恩返しができるだけと考えています。

(3) with コロナの戦略

ワクチン接種などが進むことで、これまでの、感染者が出たら全てを止める方針から、感染対策を取りながら少しずつ活動を再開して行く方向が見えてきました。

当分の間、リモート中心となるでしょうが、小規模なアコースティックライブなどのリアルなイベントへの対応も出口戦略として考えてゆきます。

(4) リモートの継続

令和2年度に引き続き、高齢者を対象とした昭和曲の演奏動画の制作や、幼児を対象とした曲の演奏動画の制作を考えました。

また、今年度の新しい試みとして、実際に訪れることができない小学校に対して、自分たちで加工した工作材料を提供して小学生に作ってもらうということを考えました。

5. 想定される活動成果

様々な境遇の幼児、児童、高齢者と音楽や工作を通じて、現在できる方法を考えてつながり、生徒達と地域住民の方々との間で地域社会における共生の在り方を模索します。

コロナによるリアルなイベントの中止が長期化し、先輩から後輩への伝承が困難な中、高校生の視点で感じたこと、意見、アイデアなどを、大人社会や行政に対しても提案し、実践するところまで踏み込めればと考え、あまがさき環境オープンカレッジや尼崎市役所立花地域課の方々と意見交換を行いたいと考えました。

本校が創立100周年を迎えるため、OBである幅広い年齢層の市民との関わりも深め、活動の幅を広げられればと考えました。

6. 活動内容

現在可能な、楽器体験や簡単な曲の演奏指導を行う小規模な軽音教室や工作教室からはじめ、訪れ

ることが難しい幼児や高齢者をつなげるための演奏動画配信、工作材料を小学校に届けて作り方を動画で説明するシステムの確立などを目標としました。

「離れてつながる」方法の模索が中心となりますが、状況を見て、幼稚園を訪問するライブや、高齢者施設の訪問も実現できればと思います。数年間の積み重ねでせっかく灯った情熱の炎を消さぬように、できないことを嘆くのではなく、その時々にはできること、やるべきことに挑戦することとしました。

7. 活動報告

(1) 子ども食堂交流・・・【年間を通じて中止】

- ① 令和元年度に提携させていただいた子ども食堂「うさぎ屋」さんがコロナ渦で今年度も閉鎖となったため、軽音教室や工作教室などの計画が全て中止となりました。

(2) こどもライブ・・・【年間を通じて中止】

- ① 令和元年度に、幼児にも高校生にも好評だった幼児対象のライブですが、幼児が集団で盛り上がってしまう懸念から中止しました。立花地域課の方々に常に検討いただいたのですが残念でした。
- ② 令和2年度に引き続き、幼児向けの演奏動画の配信という形でつながることを考えました。

(3) 高齢者向けライブ・・・【年間を通じて中止】

- ① これも令和元年度から計画しており、令和2年度も実施できなかった企画でしたが、今年度もコロナで高齢者施設の訪問が難しく、中止しました。
- ② これについても、令和2年度に引き続き、高齢者向けの演奏動画の配信を考えました。

(4) エコあまフェスタ・・・6月5日(土)【開催中止】

- ① テーマソングの演奏、市民ブースやイベント全般の手伝いなど、市民の皆さんと交流できる最大の行事だったので中止は残念でした。
写真は、下見に訪れ、あまがさき環境オープンカレッジの方々と打合せをしているところです。
- ② 令和2年度はそのまま中止でしたが、今年度は、代わりに、オンラインエコあまフェスタが開催されました。



(5) 地域清掃

- ① 例年通り、塚口西住宅自治会の清掃に年間計4回、参加させていただき、本校周辺地域の道路を各回約40分間にわたってゴミ拾いをしました。
- ② 第1回・・・4月18日(日)。15名参加。
本校1年1組環境類型の生徒とともに参加させていただき、最後に住民の方々と挨拶し、参加者に尼崎市のゴミ収集袋をいただきました。
- ③ 第2回・・・11月20日(土)。30名参加。
コロナのために、校外の人との接触をできるだけ避けるために、住民の方達と異なる日に芸術鑑賞部独自で地域清掃を行いました。
このため、写真のゴミ袋の色も違います。
離れていてもつながっている気持ちになり、ゴミを拾って街がきれいになると心が爽やかになりました。
- ④ 第4回・・・12月28日(火)。30名参加。
2021年の活動最終日に、街の歳末大掃除として行いました。
活動前に掃除することが気持ちよく、全く苦にならないうようになってきました。
- ⑤ 第5回・・・3月5日(土)。25名参加。
- ⑥ 昨年度も述べましたが、音楽系クラブの音や運動部の声、飛び出してゆくボール、通学時の自転車。学校が存在するとふつうに活動しているだけで近隣の住民にはご迷惑をおかけしていると思います。その中で共生



させていただいていることへの感謝と、地域への責任から参加させていただきました。このような交流を通じ、これからクラブ活動が続ける中で、常に感謝と騒音に配慮することを心掛ける気持ちを持ち続けてほしいと思います。

※ 写真は上から第1回から第4回です。

(6) オンライン・エコあまフェスタ・・・6月5日(土)

令和2年度に続いて残念ながら中止となったエコあまフェスタですが、今年度は約5時間にわたって、Zoomによるオンライン版のエコあまフェスタが実施されました。

①「地球を愛せ」の演奏動画

5年以上にわたってエコあまフェスタのエンディングで演奏させていただいてきた曲の演奏動画を流していただきました。

② 活動報告

環境類型とともに、芸術鑑賞部の地域交流を紹介させていただきました。

(7) ベイコムTV取材・・・7月12日(月)

地元のケーブルテレビ「ベイコムTV」が、芸術鑑賞部の地元の子どもたちに対する工作教室への取り組みについて取材して下さいました。

当日は、実際に工作を作って遊ぶ様子をお見せし、子どもたちに教える楽しさや苦勞、軽音楽活動に役立つことなどをインタビューして下さいました。

実際に工作教室を行うデモンストレーションになり、部員達のモチベーションが上がる有意義な時間でした。

(8) だんじょうこうさく教室・・・8月1日(日)

① 工作教室や音楽教室が開催できない中、西宮市の段上公民館からオファーが来て、30名を超える幼児を迎えて、紙飛行機と分光器を作って遊びました。

写真は、上が制作風景、下が分光器による光の観察と紙飛行機を飛ばしているところです。

② 小さな子ども目線で対話したり、教える難しさがありましたが、子ども達の楽しそうな顔を見て、やりがいを感じる事ができました。

③ 今回は非常に小さな子どもさんも多かったので、保護者の方々の温かいアシストも助かりました。

④ 部員達の自信になり、子どもたちにも保護者にも好評だったと思います。

⑤ 部員は、工作の部品づくりから頑張っていたので、苦勞が報われ、充実感を得た1日でした。

(9) 楊津小学校工作部品提供・・・10月。

① 小学生や幼児を招いての工作教室がなかなかできないことから、令和2年度に、工作の作り方動画をYouTubeで配信しました。

② 今年度は、部品をもらって下さる小学校を尼崎市内で探そうとした矢先、猪名川町立楊津小学校からオファーがあり、全校児童数60名と尼崎では考えられない小規模校のため、初めての試みとして部品を量産するのに適していると考え、協力していただきました。



③ 上の写真は、部員が作った工作部品を配達したときの校舎内の写真ですが、自然に囲まれた美しい木造校舎で、部員達と工作教室に来たいと思いました。

④ 下の写真は、紙飛行機の発射台に使う段ボール板を切り出しているところです。空き箱などの廃棄物を利用し、できる限りエコに心掛けています。

⑤ 軽音楽部はバンド外の人とのつながりが薄くなるので、地域清掃や工作教室などの共同作業が、部員の団結にも役立っています。



(10) あまがさき市民まつり・・・10月3日(日)。【中止】

① 地域の皆さんに演奏を聴いていただくことを楽しみにしていたので残念でした。

(11) FMあまがさき収録・・・【年度内中止】

① アルカイクホールにあるFMあまがさきのスタジオで、幼児や小学生、高齢者に対する日頃の活動や、これからの計画を報告させていただく予定で、原稿までは作ったのですが、コロナのため校外活動が禁止され、年度内中止となりました。

② 次年度に延期という形で実施していただけるとありがたいです。

(12) 尼崎市役所立花支所イベント・・・2月。【中止】

① いろいろ考えていたのですが、また演奏できませんでした。

(13) 高齢者向け・幼児向け演奏動画・・・2月～3月。

① 今年度も対面での演奏イベントが行えなかったため、令和2年度に引き続き、動画配信サービス YouTube に高齢者向けの昭和曲や幼児向けの曲の演奏動画をアップさせていただきました。

② アップロードさせていただいた演奏曲

- ・翼をください (赤い鳥) 弾き語りバージョン
- ・翼をください (赤い鳥) バンドバージョン
- ・Diamonds (PRINCESS PRINCESS)
- ・世界で一番暑い夏 (PRINCESS PRINCESS)
- ・ひまわりの約束 (秦基博)
- ・タッチ (岩崎良美)
- ・リンダリンダ (THE BLUE HERATS)
- ・フレンズ (レベッカ)

演奏技術はまだですが、市民の皆さんの前で演奏することを夢見て練習している思いを温かく見守っていただければと思います。

③ 今まで使っていた動画撮影用カメラが壊れたため、助成金で購入させていただいたカメラを使って撮影することができました。まだ録音に難がありますが、部員達も、撮影、編集、YouTue へのアップロード作業に慣れてきたので、今後も続けたいと思います。

④「尼崎市・支え合いを育む人づくりテーマソング」も試作してみました。このような取り組みも広げたいです。



(14) 活動報告動画・・・3月。

① 今年度の活動報告動画を、令和2年度に引き続いて、尼崎北高校公式 YouTube チャンネル「尼北チャンネル」に演奏動画とともにアップさせていただきました。ご覧いただければ幸いです。



(15) 立花南生涯学習センター・オープニングイベント・・・2022年4月2日(日)

厳密には次年度の開催なのですが、準備期間が令和3年度内であることと、あまりにも感動が大きかったため、ここに報告させていただきます。

- ① 地域のイベントで、地域の方々に対して演奏させていただくのは、実に2年ぶりとなるため、全ての部員にとって初めての体験で、うれしくて仕方がないという様子でした。
- ② 地域の皆さんも、高校生の演奏を聴くのが久々のせいか、温かく迎えて下さり、声援が送れない中で、これまで以上に盛り上げて下さいました。
- ③ 上の写真は、バンド演奏のコーナーで、市民の皆さんが他に様々な企画をされているため、その邪魔にならないように、生ドラムを使わず、電子ドラムで音量をコントロールしました。部員達はうれしくて、ハイテンションになっていました。
- ④ 中段の写真は、今回の助成金でエレクトリックアコースティックギター、エレクトリックアコースティックベース、カホン、アコースティックアンプを購入させていただいて実現した、アコースティックライブです。バンドより小規模で行えるので、オフアがいただければありがたいです。
- ⑤ 下の写真は、準備中に実現した、こどもけいおん教室です。小さなこどもたちの好奇心に、部員達の心も和みました。
- ⑥ 年度内には間に合いませんでしたが、準備してきたことが花開き、ようやく本来の地域交流ができた、大きな大きな第一歩でした。



8. 活動による変化

(1) 学生(部員)

今の高校生は比較的豊かな時代に育っているので、「やりたいことしかしたくない」という気持ちが強いのですが、やってみると意外に楽しかったり、やりたいことではないことをすることで新たな自分を発見できることに気づけたと思います。

コロナの中で唯一開催できた工作教室では、最初はこどもがかわいいということだけだったのですが、どうすればうまく教えられるかを考えて工夫するようになり、また、こどもが示す好奇心や瞳の輝きに対して、それに応える使命感を持つようになりました。また、こどもの保護者の方々が温かく見守って下さっていることも感じ取り、世代間のつながりの大切さを学んだと思います。

地域清掃は、コロナのために住民の方と同時に行うことはできなかったのですが、最初は、ふだん騒音で迷惑をかけているからと始めたのですが、すぐに、自分たちの街が綺麗になることに喜びを感じ、ゴミの種類と原因の分析をしたりもしていました。

コロナが収束し、自分たちが考えていた地域交流を実現してくれることをただ祈るように望んでいたのですが、4月2日の立花南のイベントで、部員達は大きな力を得ることができました。

最後に実際に行動できることは何よりも大きな経験だと思いました。新年度への大きな大きな第一歩になったと思います。

(2) 市民活動団体の活動者

環境オープンカレッジの皆さんには単年度にとどまらず、長きにわたってよくしていただいています。高校生であるが上、至らないところだらけなのですが、「若い人が参加してくれるだけで意義がある」と、深い懐で受け入れて下さり、芸術鑑賞部との関わりから、本校環境類型の授業を受け持っていただくなど、深いつながりに発展しつつあります。

部員達も、それに応えようと、コロナでイベントが中止になっても、エコあまフェスタのテーマ

ソングをオンラインで発表するなど、感謝を形にし、非常に良い共生関係を築かせていただきました。

こども食堂のうさぎ屋さんについては、一昨年たいへんお世話になったのですが、昨年度からコロナで閉鎖されていたことから、今年度も計画は全て中止となりました。

市民の方々にもって、4月2日のイベントは明日への希望で、部員の演奏を楽しんでいただきました。

(3) 指導教員の視点

① 想定していた活動成果に対する達成度合い

コロナのため、地域での演奏活動は全て中止、工作教室は1件のみ実施ということで、ほとんど達成できませんでした。

しかし、できないことを嘆くより、できること、すべきことをやろうということで、地域清掃は住民の方と交わらない形で実施、工作教室ができないなら工作の部品を作って提供する、演奏ができないなら演奏動画を録るということに取り組みました。

年度内には間に合いませんでしたが、4月2日のイベントでは、年度内に準備してきたことを形にすることができたと思います。

② 学生等が関わった地域、団体の活動の変化等

地域清掃の塚口西住宅の住民の方々とは、単年度での影響ではなく、長年の取り組みで、本校を温かく見守って下さっていると思います。

環境オープンカレッジの方々も、長年の付き合いで、部員達も何にでも取り組み、先方も企画を何でも我々に持って来て下さるようになりました。これは、立花支所を介した立花地区のイベントについても同じことがいえます。

4月2日のイベントは、今までお互いに我慢してきたことが一気に爆発して、これから以前にも増して良い関係が築けるのではないかと確信しました。

③ 学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等

とにかく何でもやってみるということが、新しい自分の発見や成長につながりました。

幼児からお年寄りまで、いろいろな人と関わる中で、自分たちの世代が世の中でどのように役立つことができるのか、これから大人になってどんなことができるのか、様々な世代が社会の中でどのように支え合っているのかを考えられるようになりました。

こどもと関わる時はこどもの気持ちになり、昭和曲を演奏するときは親や祖父母の気持ちになり、学校から地域を見ていたのが地域の中での学校の存在を考えるようになったり、視点を変えることで、視野が広がったと思います。

音楽などを通じて地域とつながり、「共生」を実感することができました。

・・・と、理屈で考えてきたのですが、4月2日のたった1回の体験で、今まで相手の見えないリモートでわからなかった、地域の人々の温かさや、関わることの楽しさを知り、既に積極的に次を考え始めています。これは、コロナによる我慢の時間がなければ気づけなかったことかもしれません。この大きな喜びが、今後どのように花開いて行くのか楽しみでなりません。